

## 令和2年度のユニバーサル社会づくり施策（主要事業）について【案】

平成30年にユニバーサル推進条例を施行、同総合指針を改定し、「ひと」「参加」「情報」「まち」「もの」5分野の体系で各種施策を進めているところであるが、「ひと」「参加」「情報」で喫緊で追加で取り組むべき課題を重点的に推進する。

### 1 ひと

みんなの声かけ運動、ヘルプマークの普及推進、「ひょうごユニバーサル大使」濱田祐太郎氏による普及啓発活動、新たに展開しているユニバーサルカフェの開設応援などにより、全ての人が地域社会の一員として尊重され、支え合う社会を目指している。このたび、社会問題となっている「8050問題」への対応として、ひきこもり者の総合支援を推進する。

#### (1) 家族を含めたひきこもり者の総合的な支援

- ① 家族支援プログラムの実践者養成とプログラムの効果検証
- ② 市町単位でのひきこもり支援チーム創設支援
- ③ 居場所の設置・拡充（NPO等担い手の養成等）

### 2 参加

#### (1) 障害者スポーツの推進

のじぎくスポーツ大会の開催、障害者スポーツ交流館の運営、障害者スポーツ選手の育成・強化等に加え、2020年東京パラリンピック及び2021年関西WMG等の世界パラスポーツの機運を醸成、参加選手の練習環境整備の充実を図る。

- ① 障害者スポーツ拠点バリアフリー化
- ② 障害者アスリートとその支援団体とのマッチング

#### (2) 障害者の芸術・文化活動の推進

障害者芸術文化活動センター（H31.4開設）の運営、障害者芸術文化祭の開催等に加え、障害者芸術の表現・展示の場の拡大や障害者自身の芸術鑑賞環境の質の向上を図る。

- ① 各種施設にはたらきかけ、障害者アートの展示場所（ギャラリー）を拡大
- ② 障害者の芸術鑑賞時における情報配慮をサポート
- ③ 障害者アートの展示・運営を支援するサポーターの養成

#### (3) 障害者の就労支援

一般就労の支援はもとより、福祉的就労のなかでも、いわゆる「農福連携」を推進する。

- ① 就労系事業所の農業分野進出のための支援
- ② 農福連携を試行するためのインターンシップ
- ③ 「農」イノベーションひょうごでの、農業者と事業所との農産加工品マッチングによる付加価値創造

### 3 情報

手話通訳者・要約筆記者による情報配慮については、県主催イベントに加えて民間団体主催イベントへの支援も開始するとともに、県民への手話普及、点字図書館においてオーディオブックの充実も推進しているところである。

加えて、近年のインターネットやICTの進歩のなかで、視聴覚障害者がより効率的に情報を収集・取得・活用できるよう支援する。

#### (1) 視聴覚障害者へのICT研修の充実強化